

アトリエの今

工事現場から ----- (10月20日現在)

■ 真言宗 豊山派 松花山 宝珠院 客殿新築工事：建物が完成し、現在外構工事中です。

■ 上越の家：新潟県上越市のハウスメーカーのモデルハウスが先日完成しました。

■ 駒込K邸：駒込駅南口近くに建設中の個人住宅。11月下旬完成です。



上越の家 竣工写真

■ 磐田市歯科医院新築計画：

壁式RC造二階建ての医院。現在コンクリート躯体の工事を行っています。

■ 浜松共同住宅：外壁下地が終了し、全体の形が見えました。

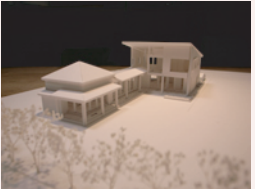
■ 高崎 蔵のギャラリー：蔵の補修・改修を行いギャラリーとする計画が10月初旬に着工となりました。

設計室から ----- (10月20日現在)

■ Kクリニック計画：錦糸町の駅近くに新たなクリニックを計画中。

■ 高井戸二所帯住宅新築計画：姉と妹の娘世帯による組み合わせの二所帯住宅。現在最終見積り調整中です。

■ T邸改修計画：住宅兼用医院の住宅部の改修計画です。見積り調整が終了し次第、10月中旬に着工となります。



鹿沼市T邸 模型写真

■ 鹿沼市N邸新築計画：何度か打ち合わせをする中で少しずつ方向性が明確になってきました。

遊・学・イベント

早いもので2007年も残り僅かとなりました。2008年のイベントも現在続々と計画中です！

<今後のイベント>

- ・12月1日 紅葉狩り＋バーベキュー
- ・12月2日 こどものもり
環境デザイン賞、木の建築大賞
受賞記念ティーパーティー

※興味のある方は 担当:西村 までお問い合わせ下さい。

<終了イベント>

- ・8月11,12日 川の全国シンポ（徳島吉野川）に入之内が参加。
- ・9月5日～8日 トルコイスタンブール 大理石の視察に入之内が参加。
- ・9月29日 曼珠沙華が満開の高麗にハイキングへ行ってきました。
- ・10月28日 水脈トーク“紙と暮らし、いまむかし”



あいにくの天気でしたが、雨に曼珠沙華や樹々の緑が映え、恵みの雨でした。



住まい考

造る人 ～鉄の造形作家 松岡信夫～

ヒト 松岡さんは鉄の造形家です。彼の手にかけると硬い鉄が変幻自在の形に生まれ変わります。炉から取り出された鉄は彼の打ち下ろすハンマーによって次から次へと形を変えていくのです。“鉄は熱いうち打て” ただ無心に鍛造を行うのかのように思えますが、そこには用のイメージを形にする修練された鉄への知識と技術が隠されているのです。『鉄に限らず、モノづくりにおいては新しい技術がないと新しい形はうまれない。新しい形を生み出す為日夜努力し学ぶのだが、その究極目標は、歴史の中で、社会の中で、自分の置かれている位置を見いだすこと』――と松岡氏は言います。『モノは一人では造れない。共同作業（コラボレーション＝他のアーティストや仲間達との共同作業や競演）は自分を鍛え、己の技を極め、その結果として自分の位置を知ることができる大切な場なのです』と。

松岡さんと私（入之内）の出会いは古く、もう30年前になります。お互いに修業の身の時代でした。これまで私の設計する建築の中で一緒に多くの共同作業を行い、作品を造ってもらっています。各々に年を重ねましたが、松岡流に言えば、やっとお互い自分の位置が見えて来たと言う事なのでしょう。だとするとモノ造りにとってこれからが大切な時期なのだと言えます。本当に必要なモノを、時を越え人々の夢を満たすような建築やモノを、創出できる時の始まりであると思っています。

癒しの形 ～炎を包む鉄の暖炉～

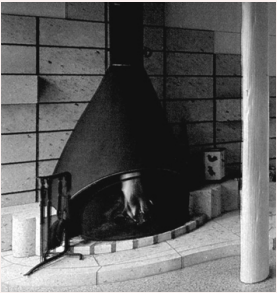
モノ 住まい造りで松岡さんに協力を願う事は多々あります。外構からインテリアまで依頼するモノは多様で、既製品では満足出来ない用具、装具、建築職人では加工が不可能な部位等が挙げられます。門、フェンス、オブジェ、ベンチ、花置、傘立て、街灯、ポスト、表札、看板、家具、照明器具、各種台所用具、暖炉……等々、基本的なデザインは私が、ディテールやモノの命は氏の手に委ねています。温かみと質感のある、見事な鉄の装具が建築を引き立たせてくれます。氏はモノの機能や役割を知り尽くしているのです。



鍛造する松岡氏

例えば暖炉、火が良く燃える暖炉はある程度年期の入った職人なら制作可能ですが、炉の中の燃え盛る炎の形を気に留め、その姿をイメージし製作するアーティストは少ないでしょう。松岡さんの造る暖炉には機能以上に、燃え盛る炎を楽しく、美しく見せる技があります。その炎は忘れかけた諸々の、人間の温かさを思い出させてくれるようであり、人の心を優しく癒してくれます。火の様を知り尽くした上での技でしょう。それは機能を越えた、人々が交感する美しさにも思えます。

(A・I 記)



知の広場

*Free Colum file.1 建築展 一人それぞれの楽しみ方～

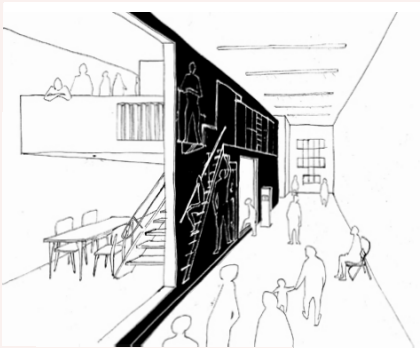
先日、六本木ヒルズ森美術館にて5月26日～9月24日まで開催されていた『ル・コルビュジェ展：建築とアート、その創造の軌跡』に行ってきました。

建築の展覧会というと、実物があるわけではないので面白くない、と思われる方もいるようですが、建築展の面白さは想像するところにあると思います。小さな模型も上から見下ろすだけでなく、自分がその模型の中にいると想像してみると、自分のまわりに大空間が広がるのです。最近の建築展では数メートルもある大きな模型や、実物大模型が展示されていたり…と、より疑似体験しやすく工夫がされています。

コルビュジェ展では、53階にある展示スペースの中に、展覧会の目玉として2階建ての建築と小さな休暇小屋が実物大で再現されていて、45分待ちという盛況ぶりでした。

説明書きを読んで頭を働かせるのも一つの見方ですが、せっかく会場へ行くのですから、体を使って自由に想像して、ちょっぴりはしゃいで空間を楽しむのもオススメです。そしていつの日か実物を訪れ、想像と本物とのギャップに「やられた！」と思ったり、はたまた自分の想像が本物を凌駕してしてにんまり(?)したり…という楽しさも、未来にとっておきましょう。

正しい見方というものがなく、（好き嫌いも含め）観覧者がどのように感じるか、その人なりの想像が許されるのが建築展を見る楽しさだと思っています。 (M・N 記)



建物の中に造られた建物＝実物大模型

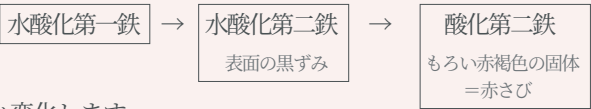
+ はみ出し知識 +

【鉄】 iron

鉄は、石や木等の自然素材を除けば一番古くから使われている建材です。製鉄技術は紀元前15世紀頃から、鉄の利用自体はそれよりはるか以前から行われてきました。日本では5世紀頃に出雲や九州で製鉄がはじめられました。

鉄は製鉄の際に混ざる炭素の量により強度や伸び具合を調整することができます。建材として利用するのは“鋼”で、これよりも炭素量が少なく軟らかいのが鍛錬に用いられる“純鉄”です。

鉄は非常に腐蝕（錆び）しやすく、大気中ではまず酸素と結合して、表面に生じた酸化物が大気中の水と反応し



等と変化します。

いきなり赤さびが発生するのではなく、その前段階として表面が黒ずんできますので、その時点で表面を拭く等清浄にすることで腐蝕の進行を遅らせることができます。

防蝕法としては、鉄の表面に皮膜をつくる方法が有効で、多くの場合、皮膜には油性ペイントが用いられています。

書籍紹介 アトリエよりオススメ書籍の紹介です。

● つきのよのものがたり

作／かさいまり 絵／黒井 健
ひさかたチャイルド 2007年



『絵本ハウス』（当アトリエ設計）のオーナーで絵本作家の黒井健氏の新作絵本です。絵からねずみが飛び出すお話で表紙を開くと夜の『絵本ハウス』が描かれています。ギャラリーの様子や林など、『絵本ハウス』を訪れた方にはどことなく知った印象があるのではないのでしょうか？



絵本に登場する夜の『絵本ハウス』

● 「終の住みか」のつくり方

著／高見澤たか子 晶文社 2004年

高見澤氏が当アトリエとともに挑んだ自宅大改築の奮闘記です。改築を思い立ったところから完成、その後まで、家建てるとはどういうことか、イメージの湧く内容となっています。53ページより入之内と松尾も登場しています。

「終の住みか」のつくり方
高見澤たか子



□□ 住まい相談室“楽居フォーラム” □□

毎月2回、住まい相談室を開催しています。これから住まいを建てたいと考えている方、住宅の改修等何でもご相談下さい。また、アトリエではより良い建築・住環境づくりの為に勉強会も行っています。お気軽にお問い合わせください。

開室日：毎月第1、第3土曜日

時間：15時～18時

場所：都市梱包工房（東京都渋谷区代々木）

ご希望の方は事前に 受付：成田 までお問い合わせください。

※お問い合わせは下記の TEL、FAX、E-mail いずれでも結構です。

編集のマド

前回の創刊号について多くの方々より感想、激励のお言葉をいただきましたので、ここでその一部をご紹介します。

✉ T・Yさん

「楽居」の封書が届きました。思わず、やられた！との衝撃。実は会社名を「楽・何某」と考えておりましたが、「居」の付いた「楽居」を見てしまいました。実に良い言葉。「閑居」ではなく「楽居」。

✉ T・Mさん

もの造りの姿勢、思いが見えない現代、意義あることと思う「楽居」発行。楽しみにしています。

TOSIKON FORUM = 語り合う場 ですので、編集のマドを拡大してFORUM としたいと考えています。ご意見、ご感想の他、「こんなテーマを扱ってほしい」等のご要望も是非お寄せ下さい。

<編集>

入之内/小池/
西村/成田

一級建築士事務所
株式会社 建築計画研究所 都市梱包工房
ARCHITECTURAL DESIGN & CITY PLANNING OFFICE
〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-2-7マルモール代々木203
TEL 03-3374-7077 HP http://www5.ocn.ne.jp/~toshikon/
FAX 03-3374-7099 E-mail toshikon@eos.ocn.ne.jp